

心を揺るびぶる音読が

で生きるようになってきました



心に太陽を持って。

あらしがふことと、

ふぶきがこよことと、

天には黒くも、

地には争いが絶えなかることと、

いつも心に太陽を持って。

山本有三「心に太陽を持って」より



岩野目小学校では、2年前から毎朝の音読や全校合唱に力を入れてきました。全校児童21人の声の一つになった音読は、聞く人の心を揺さぶります。

児童や教職員の誕生日には、みんなでメッセーじやお花を贈るのも岩野目小学校ならではの習慣で、学校全部がアットホームな雰囲気です。

誇りを持ち、

自分の力を信じて

ちょっと人見知りをする、人なつっこい21人の子供たち。自分の思いを堂々と表現できるようにと始めた音読ですが、日々の練習を積み重ね、心に響く音読ができるようになりました。私は、何度感動の涙を流したことでしょう。4月、谷川俊太郎の「愛」で歓迎した子供たちの音読に涙した新任の先生たち。10月の学習発表会で披露した「心に太陽を持って」にも大勢の観客が涙し、割れんばかりの拍手をいただきました。内弁慶なところもありますが、磨けば光る子供たちばかりです。子供たちは、いよいよ4月から早口小学校に通いますが、生活の場は変わりません。岩野目に誇りを持ち、自分の力を信じて頑張ってください。

校長 貝森 登